

第13期定時株主総会

株式会社新生銀行
平成25年6月19日

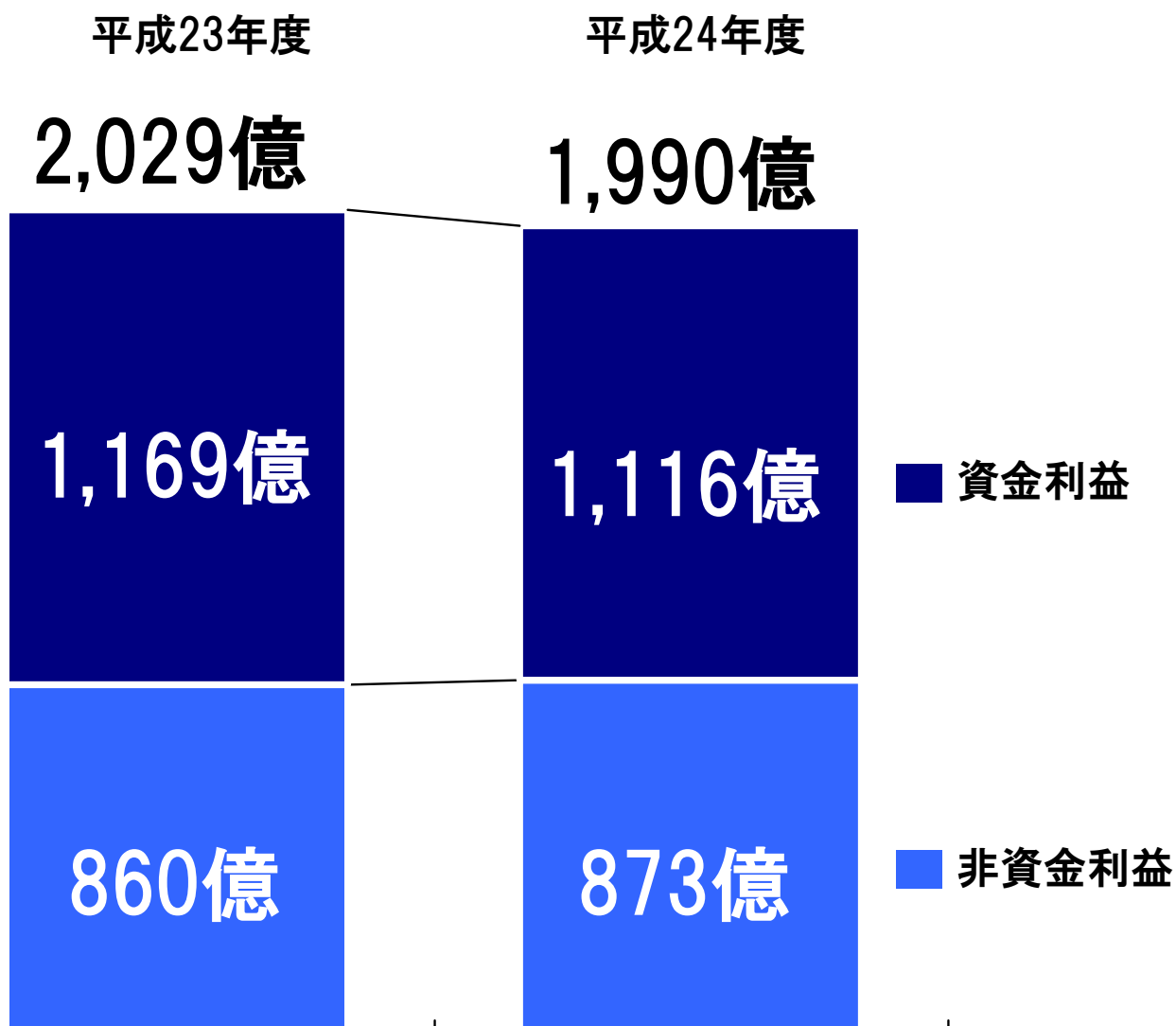


事業報告

Fiscal Year 2012 Financial Results

平成24年度連結業績の概要：

業務粗利益は、顧客基盤拡充を推進し、収益力の安定化が進捗



■ 資金利益は、銀行本体の貸出増加などコア業務において堅調に推移するも、ノンコア資産の削減、コンシューマーファイナンス業務の貸出残高減少により、減少

■ 非資金利益は、非経常的な要因による影響が限定的となったことに加え、顧客取引推進による増加により、増加

平成24年度連結業績の概要：

経費は、戦略分野への資源投入やシステム整備などにより、やや増加

平成23年度

平成24年度

1,279億

1,286億

- 顧客基盤の拡充と収益力の安定化に向けて、戦略分野には経営資源を投入
- 厳格な経費管理を行い、業務の合理化・効率化を継続

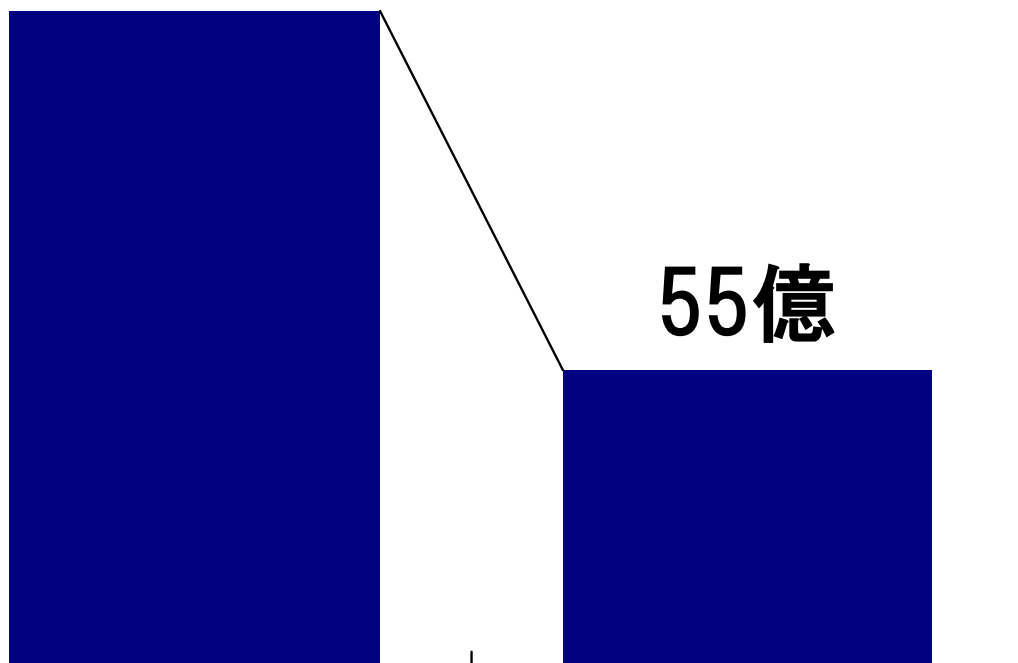
平成24年度連結業績の概要：

与信関連費用は、大きく改善

平成23年度

平成24年度

122億



55億

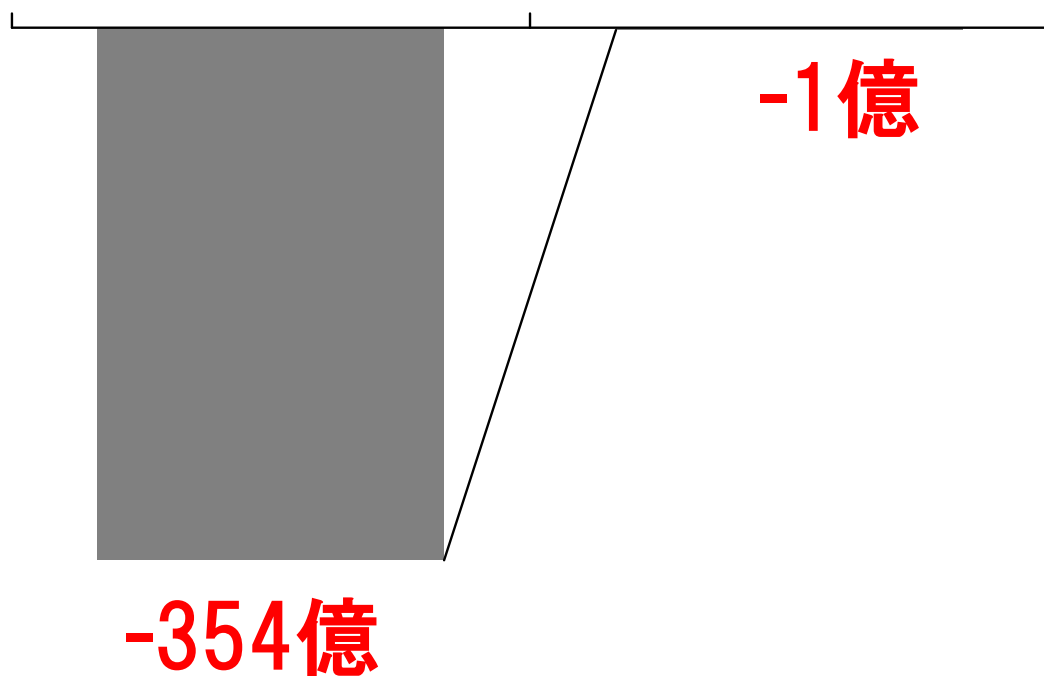
- 業績下振れリスクの削減に向けたノンコア資産などの圧縮や償却済み債権の回収により、大幅に改善
- コンシューマーファイナンス業務では、貸出資産の良化により、引き続き低位推移

平成24年度連結業績の概要：

その他損失は、ほぼゼロ

平成23年度

平成24年度



- 平成23年度は、コンシューマーファイナンス子会社3社に対して、利息返還損失引当金を328億円繰入
- 平成24年度は、利息返還損失引当金の追加繰入はなく、その他損失は大きく改善

平成24年度連結業績の概要：

第一次中期経営計画の利益目標を達成

平成23年度

平成24年度

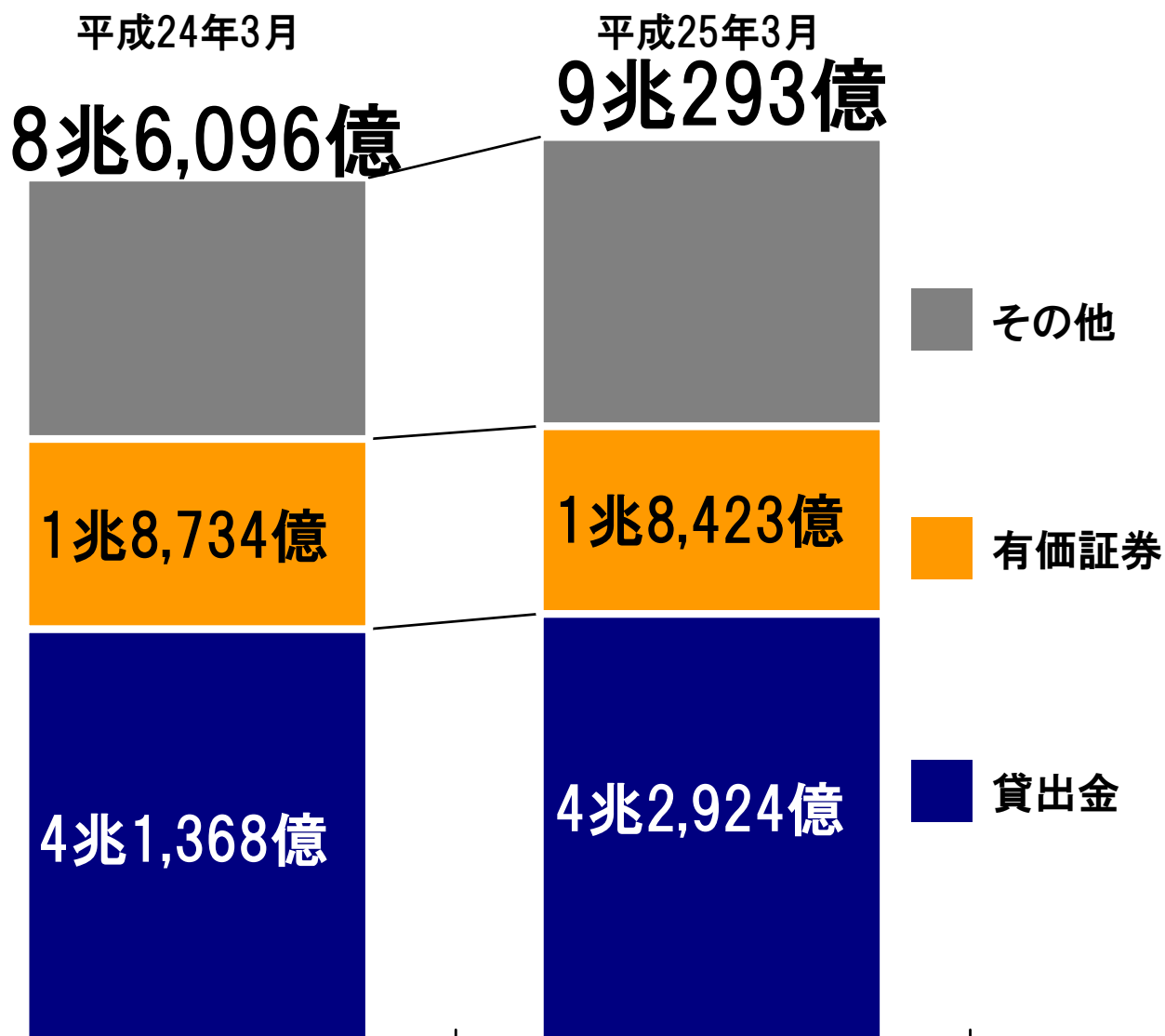
64億

510億

- 過年度までの手当てにより、平成24年度は非経常的な損益要因による影響は限定的
- 基礎的収益力を反映し、第一次中期経営計画の最終年度の利益目標である510億円を達成

資産：

貸出残高は底打ち、反転

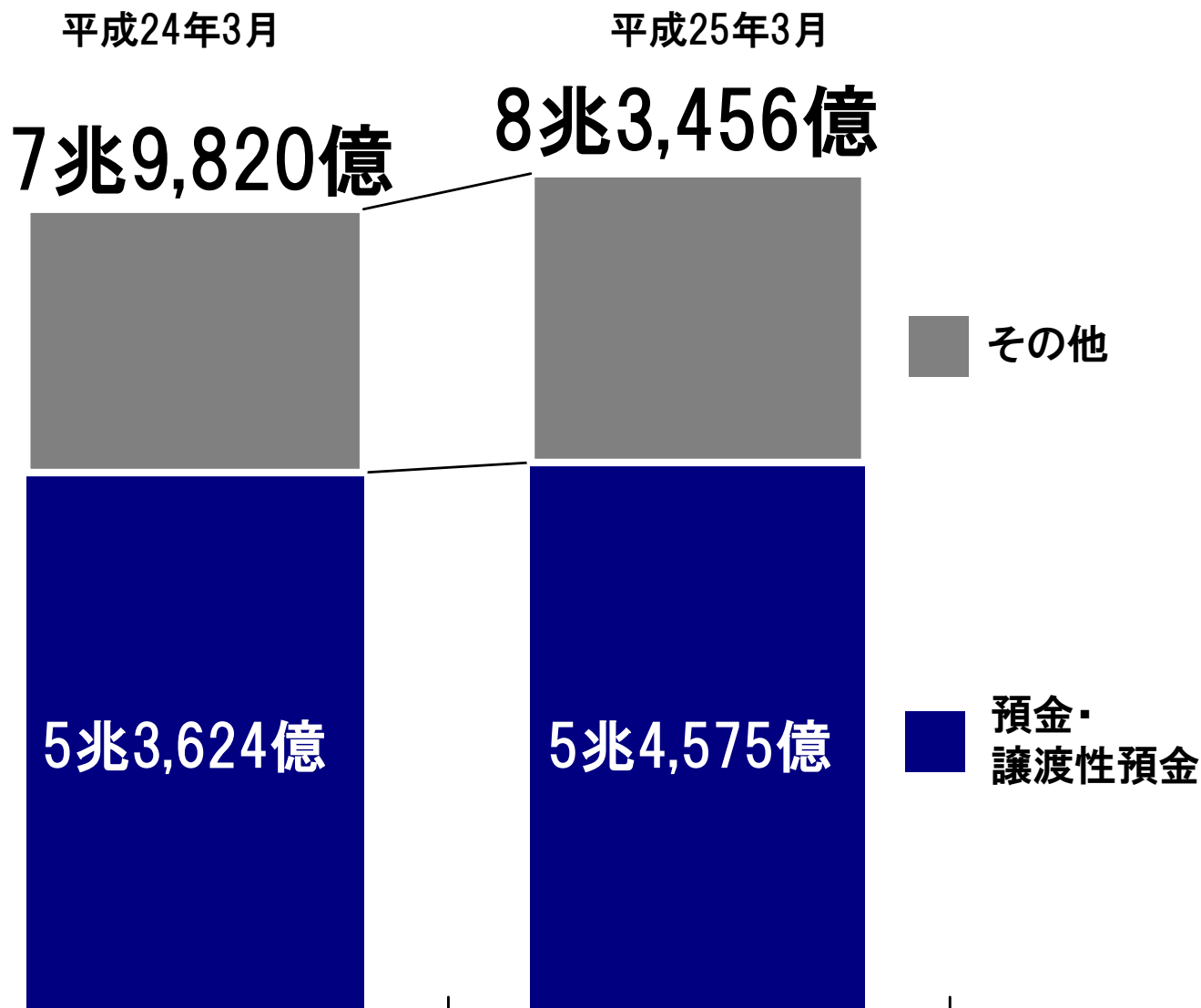


■貸出金は、法人向け貸出、個人向け住宅ローンなどのコア業務の残高伸長が貸出残高全体の増加を押し上げ

■有価証券による運用は抑制的

負債：

預金が、当行の資金調達基盤として大いに貢献



■リテールバンキングのお客さまからの預金を中心に据え、資金調達基盤の最適化を継続的に推進

■預金・譲渡性預金のうち、リテール預金の占める割合は85%超

主要な業務資産：

個人向け業務では、住宅ローンと「新生銀行カードローン レイク」が牽引

住宅ローン残高

平成24年3月

平成25年3月

9,412億

1兆916億

個人向け無担保ローン残高

平成24年3月

平成25年3月

175億

2,857億

392億

646億

2,274億

382億

新生銀行
カードローン
레이크

新生フィナン
シャル

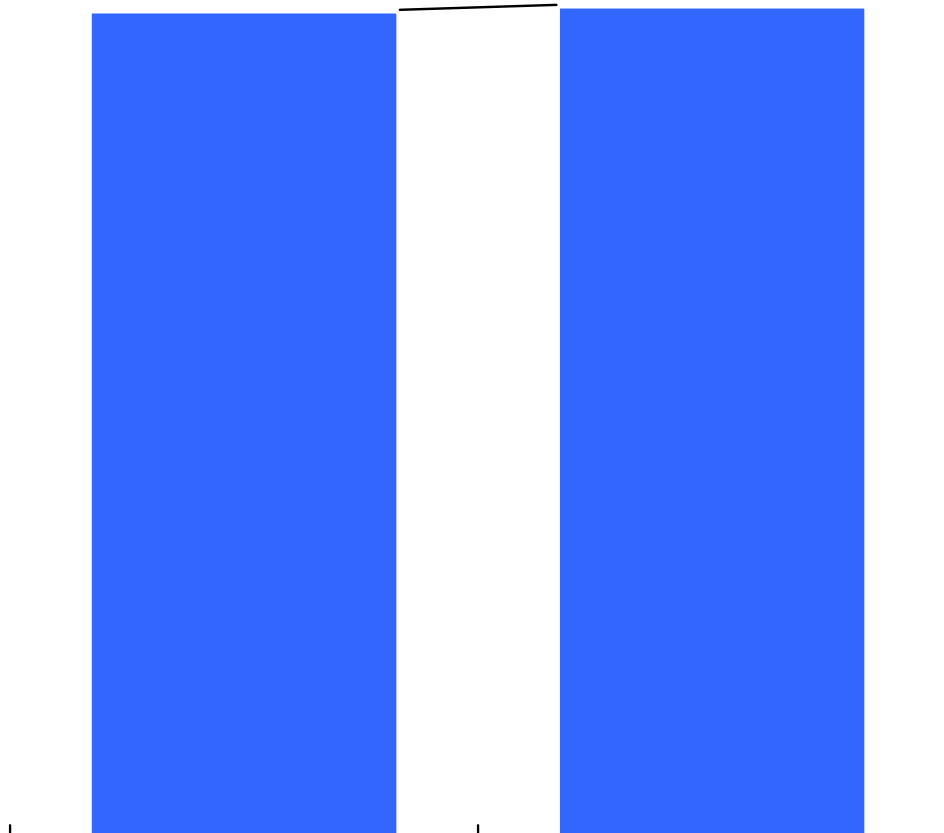
シンキ

主要な業務資産：

法人向け業務では、法人営業貸出は純増、不動産ファイナンスは減少

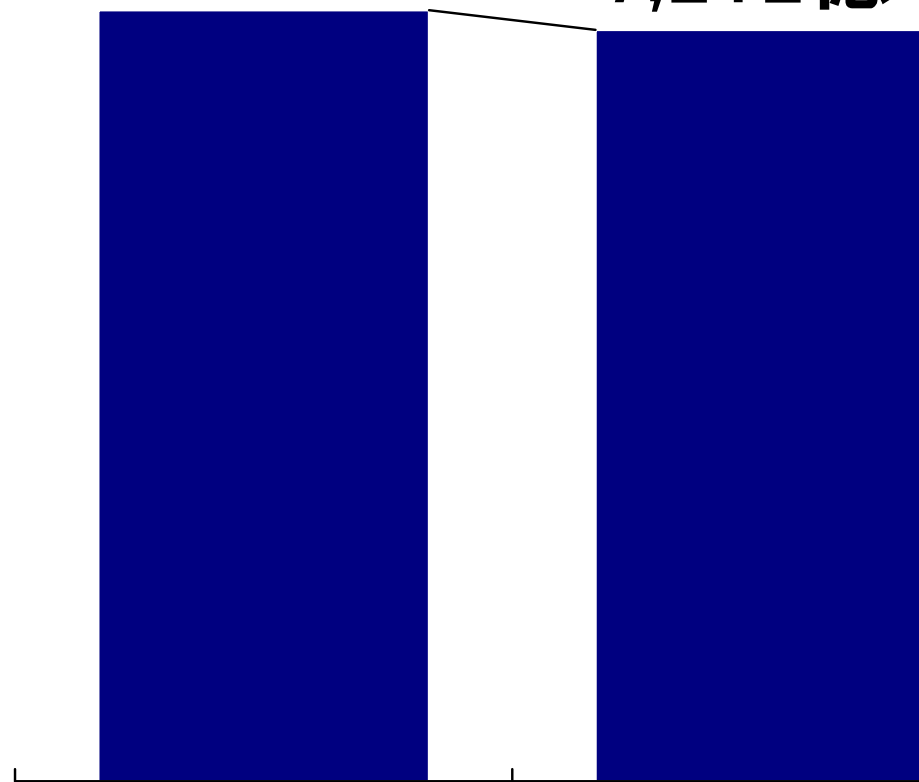
法人営業貸出残高

平成24年3月 平成25年3月
1兆6,032億 1兆6,108億



不動産ファイナンス残高(*)

平成24年3月 平成25年3月
7,401億 7,212億



(*)社債形態等を含む

過払利息返還:

引当金目的の使用額等は大きく減少。平成24年度は追加繰入なし

新生フィナンシャル

シンキ

アプラスフィナンシャル

平成23年度

平成24年度

平成23年度

平成24年度

平成23年度

平成24年度

262億

213億

140億

78億

106億

57億

77億

48億

110億

62億

64億

48億

■ 利息返還損失引当金

◆ 引当金目的の使用額等

ノンコア資産：

第一次中期経営計画の目標を大幅に上回るペースで達成

ノンコア資産残高

平成24年3月

平成25年3月

4,635億

3,417億

- 第一次中期経営計画の目標(5,430億円)を大幅に上回るペースでノンコア資産削減を達成
- 残存するノンコア資産から大きな損失が発生するリスクは限定的

資産の質：

不良債権の削減により、不良債権比率は低下

不良債権残高と保全額(率)

平成24年3月

平成25年3月

2,959億

2,426億

2,861億
(96.7%)

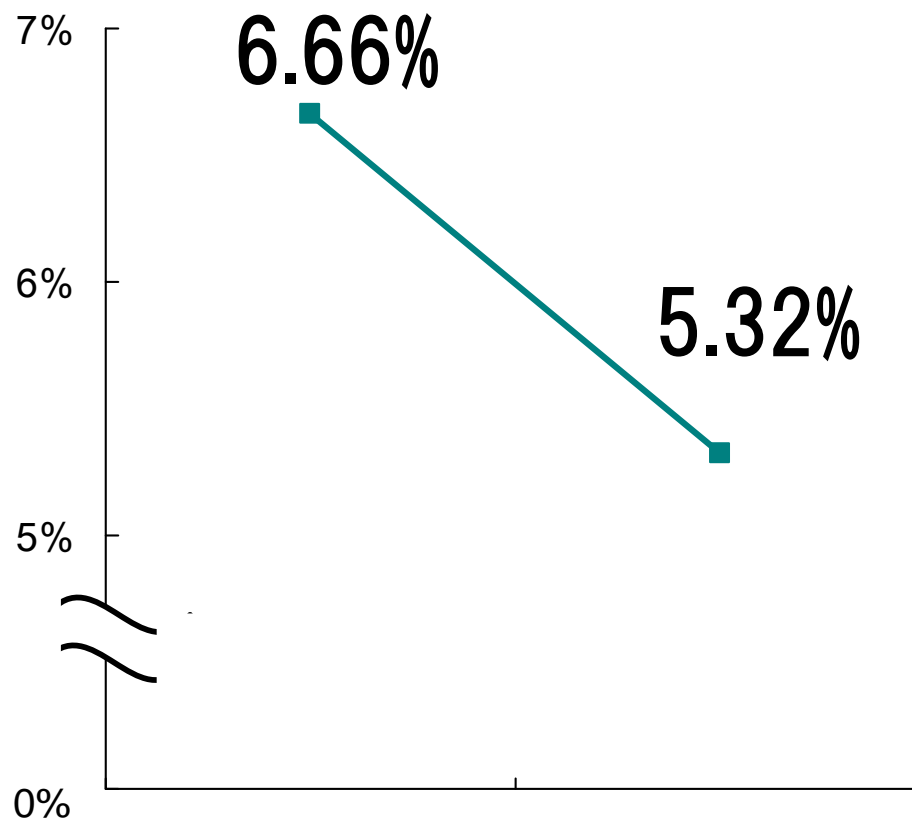
2,327億
(95.9%)

■ 金融再生法に基づく開示不良債権残高(単体)
■ 保全額(保全率)

不良債権比率

平成24年3月

平成25年3月



■ 金融再生法に基づく開示不良債権比率(単体)

資本：

利益の積み上げ、リスクアセット削減などにより、自己資本比率が改善

自己資本関連情報(バーゼル II)

	平成24年3月	平成25年3月
基本的項目 (Tier I)	5,371億円	6,088億円
補完的項目 (Tier II)	1,970億円	1,787億円
控除項目	(1,072億円)	(717億円)
自己資本金額	6,269億円	7,158億円
リスクアセット	6兆1,025億円	5兆8,477億円
自己資本比率	10.27%	12.24%
Tier I 比率	8.80%	10.41%

配当金：

■ 期末配当金

1株につき 1円00銭

平成25年度業績予想：

- 連結当期純利益：480億円
- 単体当期純利益：260億円
- 期末配当：1株につき 1円00銭

